

高等学校 令和7年度（4学年用） 教科 地理歴史 科目 歴史総合

教科： 地理歴史 科目： 歴史総合 単位数： 4 単位

対象学年組：第 4 学年 A～B組

使用教科書：（ 高等学校 新歴史総合 過去との対話、つなぐ未来 ）

教科 地理歴史 の目標：

【知識及び技能】現代世界の地域的特色と日本及び世界の歴史の展開に関して理解するとともに、調査や諸資料から様々な情報を適切かつ効果的に調べまとめる技能を身に付けるようにする。

【思考力、判断力、表現力等】地理や歴史に関わる事象の意味や意義、特色や相互の関連を、概念などを活用して多面的・多角的に考察したり、社会に見られる課題の解決に向けて構想したりする力や、考察、構想したことを効果的に説明したり、それらを基に議論したりする力を養う。

【学びに向かう力、人間性等】地理や歴史に関わる諸事象について、よりよい社会の実現を視野に課題を主体的に解決しようとする態度を養うとともに、多面的・多角的な考察や深い理解を通して涵養される日本国民としての自覚、我が国の国土や歴史に対する愛情、他国や他国の文化を尊重することの大切さについての自覚などを深める。

科目 歴史総合 の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
近現代の歴史の変化に関わる諸事象について、世界とその中の日本を広く相互的な視野から捉え、現代的な諸課題の形成に関わる近現代の歴史を理解するとともに、諸資料から歴史に関する様々な情報を適切かつ効果的に調べまとめる技能を身に付けるようにする。	近現代の歴史の変化に関わる事象の意味や意義、特色などを、時期や年代、推移、比較、相互の関連や現在とのつながりなどに着目して、概念などを活用して多面的・多角的に考察したり、歴史に見られる課題を把握し解決を視野に入れて構想したりする力や、考察、構想したことを効果的に説明したり、それらを基に議論したりする力を養う。	近現代の歴史の変化に関わる諸事象について、よりよい社会の実現を視野に課題を主体的に追究、解決しようとする態度を養うとともに、多面的・多角的な考察や深い理解を通して涵養される日本国民としての自覚、我が国の歴史に対する愛情、他国や他国の文化を尊重することの大切さについての自覚などを深める。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配当 時数
1 学 期	〈歴史の扉〉 〈近代化と私たち〉 ・18世紀のアジアの変容 ・工業化の進展と国民国家の建設 【知識及び技能】 各国の交通と貿易、産業と人口、権利意識と政治参加や国民の義務などについて、諸資料を活用しながら知識を習得する。 【思考力、判断力、表現力等】 諸資料を活用し、近代化に伴う生活や社会の変容についての考察を深め、自分自身の問いを表現する。 【学びに向かう力、人間性等】 近代化に伴う生活や社会の変容について、実生活と結び付け、課題意識をもち、考える。	【指導内容】 ・18世紀のアジアの繁栄 ・産業革命の展開 ・アメリカ独立革命の光と影 ・フランス革命 ・ウィーン体制の成立と崩壊 ・パクス・ブリタニカ ・イタリアとドイツの統一 ・アメリカ合衆国の膨張	【知識及び技能】 各国の交通と貿易、産業と人口、権利意識と政治参加や国民の義務などについて、諸資料を活用しながら知識を習得することができる。 【思考力、判断力、表現力等】 諸資料を活用し、近代化に伴う生活や社会の変容についての考察を深め、自分自身の問いを表現することができる。 【学びに向かう力、人間性等】 近代化に伴う生活や社会の変容について、実生活と結び付け、課題意識もち、考えることができる。	○	○	○	25
	定期考査			○	○		1
	〈近代化と私たち〉 ・結びつく世界と日本の開国 ・帝国主義とアジア諸国の変容 【知識及び技能】 アジア各地域間やアジア諸国と欧米諸国の貿易などを基に、18世紀のアジアの経済と社会を理解する。 【思考力、判断力、表現力等】 諸資料を活用し、18世紀のアジア諸国における経済活動の特徴、アジア諸国と欧米諸国との関係などを多面的・多角的に考察し、表現する。 【学びに向かう力、人間性等】 産業革命や交通・通信手段の革新、中国の開港と日本の開国などが、実生活とどのように結びついているのか考える。	【指導内容】 ・オスマン帝国の衰退と西アジア ・ヨーロッパのアジア進出 ・アヘン戦争とアロー戦争 ・太平天国と洋務運動 ・幕末の動乱と明治維新 ・明治初期の日本の外交 ・大日本帝国憲法の制定 ・日清戦争と中国分割 ・日露戦争とアジアの変容 ・国民統合と教育	【知識及び技能】 アジア各地域間やアジア諸国と欧米諸国の貿易などを基に、18世紀のアジアの経済と社会を理解することができる。 【思考力、判断力、表現力等】 諸資料を活用し、18世紀のアジア諸国における経済活動の特徴、アジア諸国と欧米諸国との関係などを多面的・多角的に考察し、表現することができる。 【学びに向かう力、人間性等】 産業革命や交通・通信手段の革新、中国の開港と日本の開国などが、実生活とどのように結びついているのか考えることができる。	○	○	○	28
	定期考査			○	○		1

2 学 期	〈国際秩序の変化や大衆化と私たち〉 ・第一次世界大戦と大衆社会 ・経済危機と第二次世界大戦 【知識及び技能】 第一次世界大戦の展開、アジアの経済成長、ソヴィエト連邦の成立などを基に、総力戦と第一次世界大戦後の国際協調体制を理解する。 【思考力、判断力、表現力等】 第一次世界大戦前後の社会の変化などに着目して、日本とその他の国や地域の動向を多面的・多角的に考察し、表現すること。 【学びに向かう力、人間性等】 国際連盟の成立や国際的な軍縮条約の締結などを扱い、その中で日本が果たした役割や国際的な立場の変化について考える。	【指導内容】 ・第一次世界大戦の勃発 ・ロシア革命とソ連の成立 ・ヴェルサイユ・ワシントン体制 ・アジアの独立運動 ・政治運動の展開と社会運動 ・世界恐慌のはじまり ・ファシズム、軍部の台頭 ・満州事変と日中戦争 ・第二次世界大戦の勃発	【知識及び技能】 第一次世界大戦の展開、アジアの経済成長、ソヴィエト連邦の成立などを基に、総力戦と第一次世界大戦後の国際協調体制を理解することができる。 【思考力、判断力、表現力等】 第一次世界大戦前後の社会の変化などに着目して、日本とその他の国や地域の動向を多面的・多角的に考察し、表現することができる。 【学びに向かう力、人間性等】 国際連盟の成立や国際的な軍縮条約の締結などを扱い、その中で日本が果たした役割や国際的な立場の変化について考えることができる。	○	○	○	36
	定期考査			○	○		1
3 学 期	〈グローバル化と私たち〉 ・第二次世界大戦後の世界と日本 〈グローバル化と私たち〉 ・冷戦と脱植民地化、第三世界の台頭 【知識及び技能】 第二次世界大戦の展開、国際連合と国際経済体制、などを基に、第二次世界大戦後の国際秩序を理解する。 【思考力、判断力、表現力等】 経済危機の背景と影響、国際秩序や政治体制の変化などに着目して、国際協調体制の動揺の要因などを多面的・多角的に考察し、表現する。 【学びに向かう力、人間性等】 日本の政治体制や対外政策の変化、国際協調を基調とするこれまでの国際秩序の変容などについて考える。	【指導内容】 ・国際連合の成立と冷戦 ・占領下の日本 ・戦後の東アジア ・講和と独立後の日本 ・キューバ危機 ・高度経済成長とアジア諸国 ・ベトナム戦争と文化大革命	【知識及び技能】 第二次世界大戦の展開、国際連合と国際経済体制、などを基に、第二次世界大戦後の国際秩序を理解することができる。 【思考力、判断力、表現力等】 経済危機の背景と影響、国際秩序や政治体制の変化などに着目して、国際協調体制の動揺の要因などを多面的・多角的に考察し、表現することができる。 【学びに向かう力、人間性等】 日本の政治体制や対外政策の変化、国際協調を基調とするこれまでの国際秩序の変容などについて考えることができる。	○	○	○	30
	定期考査			○	○		1
3 学 期	〈グローバル化と私たち〉 ・世界秩序の変容と日本 【知識及び技能】 脱植民地化とアジア・アフリカ諸国、冷戦下の地域紛争、先進国の政治の動向を基に、国際政治の変容を理解する。 【思考力、判断力、表現力等】 冷戦終結の背景、民主化や地域統合の影響などに着目して、冷戦終結後の国際政治の特徴と日本の役割などを多面的・多角的に考察し、表現する。 【学びに向かう力、人間性等】 アジアの諸地域の経済発展の背景、資源・エネルギーと地球環境問題が世界経済に及ぼした影響などを考える。	【指導内容】 ・石油危機と東アジアの変容 ・アジアの経済成長 ・冷戦終結とソ連の消滅 ・冷戦終結後のアメリカと国際社会 ・グローバル化の進展と格差の拡大 ・1990年代以降の国民生活	【知識及び技能】 脱植民地化とアジア・アフリカ諸国、冷戦下の地域紛争、先進国の政治の動向を基に、国際政治の変容を理解することができる。 【思考力、判断力、表現力等】 冷戦終結の背景、民主化や地域統合の影響などに着目して、冷戦終結後の国際政治の特徴と日本の役割などを多面的・多角的に考察し、表現することができる。 【学びに向かう力、人間性等】 アジアの諸地域の経済発展の背景、資源・エネルギーと地球環境問題が世界経済に及ぼした影響などを考えることができる。	○	○	○	32
	定期考査			○	○		1
							合計
							156

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	領域			評価規準	知	思	態	配当 時数
			話・ 聞	書	読					
1 学 期	A 物体の運動 ・物体の運動について、式を用いて理解する。 ・重力加速度と自由落下について式を用いて説明できる。 ・重力加速度の大きさを求める実験の計画と考察ができる。	・等速直線運動 ・速度の合成 ・等加速度直線運動 ・重力加速度と自由落下 ・鉛直投射と水平投射	○			・物体の運動について、式を用いて理解できている。 ・重力加速度と自由落下について、式を用いて説明できる。 ・重力加速度の大きさを求める実験の計画と考察ができている。	○	○	○	12
	定期考査					○	○			1
	B 力、仕事と力学エネルギー ・力の合成と分解について理解する。 ・作用・反作用の法則、慣性の法則について説明できる。 ・運動の法則を用いて、方程式を解くことができる。	・いろいろな力 ・力の合成と分解 ・作用・反作用の法則 ・慣性の法則 ・運動の法則		○		・力の合成と分解について理解できている。 ・作用・反作用の法則、慣性の法則について説明できる。 ・運動の法則を用いて、方程式を解くことができている。	○	○	○	14
	定期考査					○	○			1
2 学 期	C 熱とエネルギー ・熱と熱平衡について理解する。 ・熱量の保存について説明できる。 ・エネルギーの変換と保存について自ら調べることができる。	・熱運動 ・熱と熱平衡 ・熱量の保存 ・物体の三態 ・熱と仕事 ・エネルギーの変換と保存	○			・熱と熱平衡について理解できている。 ・熱量の保存について説明できる。 ・エネルギーの変換と保存について自ら調べ、まとめることができる。	○	○	○	14
	定期考査					○	○			1
	D 波動 ・波の性質について理解する。 ・波の作図ができる。 ・音波について自ら調べることができる。	・波と振動 ・横波と縦波 ・波の重ねあわせ ・定常波 ・波の作図 ・音波		○		・波の性質について理解できている。 ・波の作図ができる。 ・音波について自ら調べ、まとめることができている。	○	○	○	14
	定期考査					○	○			1
3 学 期	E 電気 ・電流と電気抵抗について理解する。 ・抵抗の接続について説明できる。 ・電流と磁場について自ら調べることができる。	・電流と電気抵抗 ・抵抗の接続 ・電気力と電力 ・磁場 ・電磁波	○			・電流と電気抵抗について理解できている。 ・抵抗の接続について説明できる。 ・電流と磁場について自ら調べ、まとめることができている。	○	○	○	10
	F エネルギーとその利用 ・太陽エネルギーの利用について理解する。 ・原子核と放射線について説明できる。 ・原子力とその利用について自ら調べることができる。	・太陽エネルギーの利用 ・原子核と放射線 ・原子力とその利用		○		・太陽エネルギーの利用について理解できている。 ・原子核と放射線について説明できる。 ・原子力とその利用について自ら調べ、まとめることができている。	○	○	○	10
	定期考査					○	○			合計 78

高等学校 令和7年度（4学年用） 教科 保健体育 科目 体育

教 科： 保健体育 科 目： 体育 単位数： 2 単位

対象学年組： 第 4 学年 A 組～ B 組

使用教科書：（ 現代高等保健体育 大修館書店 ）

教科 保健体育 の目標：

【知 識 及 び 技 能】 各種の運動の特性に応じた技能等及び社会生活における健康・安全について理解するとともに、技能を身に付けるようにする。

【思考力、判断力、表現力等】 運動や健康についての自他や社会の課題を発見し、合理的、計画的な解決に向けて思考し、判断するとともに、他者に伝える力を養う。

【学びに向かう力、人間性等】 生涯にわたって継続して運動に親しむとともに健康の保持増進と体力の向上を目指し、明るく豊かで活力ある生活を営む態度を養う。

科目 体育 の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
運動の合理的、計画的な実践を通して、運動の楽しさや喜びを深く味わい、生涯にわたって運動を豊かに継続することができるようにするため、運動の多様性や体力の必要性について理解するとともに、それらの技能を身に付けるようにする。	生涯にわたって運動を豊かに継続するための課題を発見し、合理的、計画的な解決に向けて思考し判断するとともに、自己や仲間の考えたことを他者に伝える力を養う。	運動における競争や協働の経験を通して、公正に取り組む、互いに協力する、自己の責任を果たす、参画する、一人一人の違いを大切にしようとするなどの意欲を育てるとともに、健康・安全を確保して、生涯にわたって継続して運動に親しむ態度を養う。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配当 時数
1 学 期	A 体づくり運動・体力テスト 【知識及び技能】 体はぐしの運動では、手軽な運動を行い、心と体は互いに影響し変化することや、心身の状態に気付き、仲間と主体的に関わり合うこと必要性を理解しながら運動に取り組むことができる。 【思考力、判断力、表現力等】 体力の程度や性別等の違いを超えて、仲間とともに体づくり運動を楽しむための調整の仕方を見つける。 【学びに向かう力、人間性等】 一人一人の違いに応じた動きなどを大切にしようということや、主体的に体づくり運動に取り組もうとしている。	・指導事項 準備体操やストレッチなどの簡単な運動を通して、生徒の自己の体を知り、継続して運動に取り組む大切さに気付く時間を設ける。 ・教材 東京アルファ、プリント、動画、記録用紙等 ・一人1台端末の活用 等 体力テストの入力・個々の体力の把握。	【知識・技能】 体づくり運動の行い方、体力の構成要素、実生活への取り入れ方などについて理解している。 【思考・判断・表現】 生涯にわたって運動を豊かに継続するための自己や仲間の課題を発見し、合理的、計画的な解決に向けて取り組み方を工夫するとともに、自己や仲間の考えたことを他者に伝えている。 【主体的に学習に取り組む態度】 体づくり運動に主体的に取り組むとともに、互いに助け合い教えあおうとすること、一人一人の違いに応じた動きなどを大切にしようということ、合意形成に貢献しようとするなどをしてしたり、健康・安全を確保したりしている。	○	○	○	6
	B 陸上競技 【知識及び技能】 短距離走、リレーの局面ごとに技術の名称があり、それぞれの技術には、記録の向上につながる重要な動きのポイントや安全で合理的な練習の仕方があること、競技のルール、運営の仕方や役割に応じた行動の仕方、全員が楽しむためのルール等の調整の仕方があることを理解している。 【思考力、判断力、表現力等】 自己に適した「する、みる、支える、知る」などの運動を生涯にわたって楽しむための関わり方を見つける。 【学びに向かう力、人間性等】 陸上競技に主体的に取り組むとともに、一人一人の違いに応じた課題や挑戦を大切にしようとする。	・指導事項 記録をもとに、自己や仲間に合った走り方を考える時間を設ける。 ・教材 ストップウォッチ、バトン、スタートフラッグ等 ・一人1台端末の活用 等 走りの記録や、早く走るためのポイント調べ等。	【知識・技能】 技術の名称や行い方、体力の高め方、課題解決の方法、測定の仕方などについて理解している。短距離走・リレーでは、中間走の高いスピードを維持して速く走ることやバトンの受渡しで次走者と前走者の距離を長くすることができる。 【思考・判断・表現】 生涯にわたって運動を豊かに継続するための自己や仲間の課題を発見し、合理的、計画的な解決に向けて取り組み方を工夫するとともに、自己や仲間の考えたことを他者に伝えている。 【主体的に学習に取り組む態度】 陸上競技に主体的に取り組むとともに、勝敗などを冷静に受け止め、ルールやマナーを大切にしようということ、役割を積極的に引き受け、自己の責任を果たそうとすること、一人一人の違いに応じた課題や挑戦を大切にしようとするなどをしてしたり、健康・安全を確保したりしている。	○	○	○	6
	C 球技（バドミントン） 【知識及び技能】 シャトルを相手のコートの空いた場所やねらった場所に打ち返すこと。ネット付近でシャトルをコントロールし、打ち返したりすること。腕やラケットを強く振って、ネットより高い位置から相手のコートに打ち込むこと。 【思考力、判断力、表現力等】 合理的な動きと自己や仲間の動きを比較して、成果や改善すべきポイントとその理由を仲間に伝えること。健康や安全を確保するために、体調や環境に応じた適切な練習方法等について振り返ること。 【学びに向かう力、人間性等】 バドミントンに主体的に取り組むとともに、フェアなプレイを大切にしようということ、互いに助け合い教え合おうとすることなどや健康・安全を確保しようとする。	・指導事項 個人の能力を高めるだけでなく、シングルス、ダブルスの試合を通して、対人で行う運動の経験を積み重ねる。 ・教材 ラケット、シャトル、得点板、ネット、ボール等 ・一人1台端末の活用 等 授業アンケート等。	【知識・技能】 役割に応じたシャトル操作や安定したラケットの操作と連携した動きによって空いた場所をめぐる攻防をする。 【思考・判断・表現】 生涯にわたって運動を豊かに継続するためのチームや自己の課題を発見し、合理的、計画的な解決に向けて取り組み方を工夫するとともに、自己やペアが考えたことを他者に伝える。 【主体的に学習に取り組む態度】 バドミントンの学習に主体的に取り組もうとすること。相手を尊重するなどのフェアなプレイを大切にしようということ。一人一人の違いに応じた課題や挑戦及び修正などを大切にしようということ。互いに練習相手になったり仲間に助言したりして、互いに助け合い教え合おうとすること。健康・安全を確保しようとする。	○	○	○	12

D	【選択球技】 ＜ネット型＞ バドミントン、卓球、バレーボール 【知識及び技能】 サーブでは、ボールやシャトルをねらった場所に打つこと。ボールやシャトルを相手のコートの空いた場所やねらった場所に打ち返すこと。 ネット付近でボールやシャトルをコントロールし、打ち返しったりすること。 【思考力・判断力・表現力等】 合理的な動きと自己や仲間の動きを比較して、成果や改善すべきポイントとその理由を仲間に伝えること。 健康や安全を確保するために、体調や環境に応じた適切な練習方法等について振り返ること。ルールを守り、勝敗を受け入れたりする場面で、よりよいマナーや行為について自己を振り返る。 【学びに向かう力、人間性等】 ネット型球技に自主的に取り組むとともに、フェアなプレイを大切にしようとし、一人一人の違いに応じたプレイなどを大切にしようとすること、互いに助け合い教え合おうとすることなどや健康・安全を確保しようとする。	・指導事項 各運動の試合を通して、個人やチームでの運動経験を増やし、生徒が協力しながら運動できる時間を増やす。 ・教材 ラケット、シャトル、得点板、ネット、ボール等 ・一人１台端末の活用 等 授業アンケート等。						
E	＜ゴール型＞ バスケットボール、フットサル 【知識及び技能】 ゴール前に広い空間を作り出すために、守備者を引き付けてゴールから離れること。パスを出した後に次のパスを受ける動きをすること。ボール保持者が進行できる空間を作り出すために、進行方向から離れること。ゴールとボール保持者を結んだ直線上で守ること。ゴール前の空いている場所をカバーすること。 【思考力・判断力・表現力等】 健康や安全を確保するために、体調や環境に応じた適切な練習方法等について振り返ること。ルールを守り競走したり、勝敗を受け入れたりする場面で、よりよいマナーや行為について自己を振り返ること。 【学びに向かう力、人間性等】 ゴール型の球技に自主的に取り組むとともに、フェアなプレイを大切にしようとし、一人一人の違いに応じたプレイなどを大切にしようとすること、互いに助け合い教え合おうとすることなどや健康・安全を確保しようとする。	・指導事項 チームとしてのまとまりの中で、生徒が協働して運動に取り組む経験を積み重ねる時間を増やす。 ・教材 ラケット、シャトル、得点板、ネット、ボール等 ・一人１台端末の活用 等 授業アンケート等。						
F	体育理論（３）豊かなスポーツライフの設計の仕方 【知識及び技能】 生涯にわたってスポーツを継続するためには、ライフスタイルに応じたスポーツの関わり方を見つけること、仕事と生活との調和を図ること、運動の機会を生み出す工夫をするなどが必要であることを理解している。 【思考力・判断力・表現力等】 豊かなスポーツの設計の仕方について、課題を発見し、よりよい解決に向けて思考し判断するとともに、他者に伝える。 【学びに向かう力、人間性等】 豊かなスポーツライフの設計の仕方について主体的に取り組もうとしている。	・指導事項 生徒が体の機能や競技による特性に関連付けて学習できるようにする。 ・教材 スライド「スポーツを推進する取り組み」「豊かなスポーツライフの創造」、プリント、動画等 ・一人１台端末の活用 等 調べ学習や学習の振り返りを端末を使用して行う。	【知識・技能】 生涯にわたって「する、みる、支える、知る」などのスポーツを多様に継続するためには、ライフステージに応じたスポーツの楽しみ方を見付けることに加え、それぞれの生き方や暮らし方といったライフスタイルに応じた無理のないスポーツへの関わり方が大切であると理解している。 【思考・判断・表現】 豊かかなスポーツライフが広がる未来の社会について、これまで学習したことを基に、将来の自己のスポーツ設計や未来の社会についての自己の提案を言葉や文章などを通して他者に伝える。 【主体的に学習に取り組む態度】 豊かなスポーツライフの設計の仕方についての学習に主体的に取り組もうとする。					
G								
H								
I								
J								
K								
L								
M								
N								
O								
P								
合計								
78								

高等学校 令和7年度（4学年用） 教科 外国語 科目 英語コミュニケーションⅡ

教科：外国語 科目：英語コミュニケーションⅡ 単位数：2 単位

対象学年組：第 4 学年 A 組～ B 組

使用教科書：「Amity English CommunicationⅡ」（開隆堂）

教科 外国語 の目標：

【知識及び技能】 英語の音声や語彙、表現、文法、言語の働きなどの理解を深めるとともに、これらの知識を聞く、読む、話す、書くことによる実際のコミュニケーションにおいて、目的や場面、状況などに応じて適切に活用できる技能を身に付けるようにする。

【思考力、判断力、表現力等】 コミュニケーションを行う目的や場面、状況などに応じて、日常的な話題や社会的な話題について、英語で情報や考えなどの概要や、話し手や書き手の意図などを理解したり、これらを活用して適切に表現したり伝え合ったりすることができる力を養う。

【学びに向かう力、人間性等】 英語の背景にある文化に対する理解を深め、聞き手、読み手、話し手、書き手に配慮しながら、主体的、自律的に英語を用いてコミュニケーションを図ろうとする態度を養う。

科目 英語コミュニケーションⅡ の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
英語の音声や語彙、表現、文法、言語の働きなどの理解を深めるとともに、これらの知識を聞く、読む、話す、書くことによる実際のコミュニケーションにおいて、目的や場面、状況などに応じて適切に活用できる技能を身に付けるようにする。	コミュニケーションを行う目的や場面、状況などに応じて、日常的な話題や社会的な話題について、英語で情報や考えなどの概要や、話し手や書き手の意図などを理解したり、これらを活用して適切に表現したり伝え合ったりすることができる力を養う。	英語の背景にある文化に対する理解を深め、聞き手、読み手、話し手、書き手に配慮しながら、主体的、自律的に英語を用いてコミュニケーションを図ろうとする態度を養う。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	領域					評価規準	知	思	態	配 当 時 数
			聞	読	話 (や)	話 (発)	書					
1 学 期	単元【Artificial Intelligence】 【知識及び技能】 接続詞や前置詞について理解し、概要や要点を捉える技能を身に付けている。 【思考力、判断力、表現力等】 接続詞や前置詞を用いて、自分の欲しいAIロボットについて、考えや気持ちを絵を使って説明している。 【学びに向かう力、人間性等】 接続詞や前置詞を用いて、自分の欲しいAIロボットについて、考えや気持ちを絵を使って説明しようとしている。	・本単元の文法事項 ・AIについてやり取りしたり、自分の欲しいAIロボットについて紹介したりする。 ・英文の音読 ・ICTの活用 ・1人1台端末の活用	○	○	○	○	○	【知識・技能】 本単元の文法や語彙・表現の理解を深め、実際のコミュニケーションにおいて、適切に活用できている。 【思考・判断・表現】 本単元のテーマについて、考えや気持ちを話して伝えている。 【学びに向かう力・人間性】 本単元のテーマについて、考えや気持ちを話して伝えようとしている。	○	○	○	8
	定期考査	・単元の内容理解を確認する。		○			○	本単元で学習した内容を理解している。	○	○		1
	単元【The Mystery of Colors】 【知識及び技能】 現在完了や現在完了進行形を理解し、概要や要点を捉える技能を身に付けている。 【思考力、判断力、表現力等】 現在完了や現在完了進行形を用いて、写っている果物の色について、考えを説明している。 【学びに向かう力、人間性等】 現在完了や現在完了進行形を用いて、写っている果物の色について、考えを説明しようとしている。	・本単元の文法事項 ・好きな色についてやり取りしたり、写っている果物の色について説明したりする。 ・英文の音読 ・ICTの活用 ・1人1台端末の活用	○	○	○	○	○	【知識・技能】 本単元の文法や語彙・表現の理解を深め、実際のコミュニケーションにおいて、適切に活用できている。 【思考・判断・表現】 本単元のテーマについて、考えや気持ちを話して伝えている。 【学びに向かう力・人間性】 本単元のテーマについて、考えや気持ちを話して伝えようとしている。	○	○	○	14
	定期考査	・単元の内容理解を確認する。		○			○	本単元で学習した内容を理解している。	○	○		1

[illegible]

年間授業計画

高等学校 令和7年度（4学年用）

教科

家庭

科目

保育基礎

教科：

家庭

科目：

保育基礎

単位数：

2

単位

対象学年組：第 4 学年 A 組

使用教科書：（「保育基礎 ようこそ、ともに育ち合う保育の世界へ」 教育図書

）

教科

家庭

の目標：

【知識及び技能】生活産業に関わる分野を体系的・系統的に理解をし、関連する技術を身に付ける。

【思考力、判断力、表現力等】生活産業に関する課題を発見し、職業人に必要な倫理観を踏まえ、合理的かつ創造的な解決能力を養う。

【学びに向かう力、人間性等】職業人に必要な豊かな人間性を育み、生活の質と社会の発展に主体的かつ協働的に取り組む態度を養う。

科目

保育基礎

の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
保育の意義や方法、子どもの発達や生活の特徴、児童福祉や文化に関する知識や技術を身に付ける。	子どもを取り巻く課題を発見し、保育を実践する人としての合理性や創造性を育む。	子どもの健やかな発達を目指して学び、保育に主体的かつ協働的に取り組む態度を養う。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配当 時数
1 学期	1章 子どもの保育 【知識及び技能】 保育の意義や環境、方法に関わる知識や技能を身に付ける 【思考力、判断力、表現力等】 保育の意義を踏まえた適切な保育環境や保育方法を考察する 【学びに向かう力、人間性等】 保育の意義を踏まえ、適切な保育環境や方法を主体的に学ぶ	【指導事項】 ・保育の意義 ・保育の環境 ・保育の方法 【教材】 ・教科書 ・学習プリント ・タブレット端末	【知識及び技能】 保育の意義や環境、方法に関わる知識や技能を身に付けている 【思考・判断・表現】 保育の意義を踏まえた適切な保育環境や保育方法を考察している 【学びに向かう力、人間性】 保育の意義を踏まえ、適切な保育環境や保育方法を主体的に学んでいる	○	○	○	12
	2章 子どもの発達 【知識及び技能】 子どもの発達や発育特性における共通性と個性を理解する 【思考力、判断力、表現力等】 子どもの発達や発育特性を踏まえ、大人との違いを考察する 【学びに向かう力、人間性等】 子どもの発達や発育特性を主体的に学び、受容する	【指導事項】 ・子供の発達の特性 ・乳幼児の発育と発達 【教材】 ・教科書 ・学習プリント ・タブレット端末	【知識及び技能】 子どもの発達や発育特性における共通性と個性を理解している 【思考・判断・表現】 子どもの発達や発育特性を踏まえ、大人との違いを考察している 【学びに向かう力、人間性】 子どもの発達や発育特性を主体的に学び、受容している	○	○	○	12
	期末考査と振り返り	学習内容の確認と復習	三観点による総合評価とする	○	○	○	2
2 学期	3章 子どもの生活 【知識及び技能】 子どもの快適な生活を健康面や安全面から理解する 【思考力、判断力、表現力等】 子どもの健康で安全な生活を保育者の視点で考察する 【学びに向かう力、人間性等】 子どもに寄り添う生活を主体的に学び、受け止める	【指導事項】 ・子どもの健康と生活 ・子どもの食事 ・子どもの衣服と寝具 ・子どもの健康と安全 【教材】 ・教科書 ・学習プリント ・実習材料 ・タブレット端末	【知識及び技能】 子どもの快適な生活を健康面や安全面から理解している 【思考力、判断力、表現力等】 子どもの健康で安全な生活を保育者の視点で考察している 【学びに向かう力、人間性】 子どもに寄り添う生活を主体的に学び、受け止めている	○	○	○	20
	5章 子どもの文化 【知識及び技能】 子どもの文化を支える施設の意義や表現活動の方法を理解する 【思考力、判断力、表現力等】 子どもの文化の意義や表現活動の方法に関わりの視点で考察する 【学びに向かう力、人間性等】 子どもとの関わり方を主体的に学び、考え方や見方を広げる	【指導事項】 ・子どもの文化の意義 ・子どもの文化を支える場 ・子どもと遊び ・子どもの表現活動 【教材】 ・教科書 ・学習プリント ・実習材料 ・タブレット端末	【知識及び技能】 子どもの文化を支える施設の意義や表現活動の方法を理解している 【思考・判断・表現】 子どもの文化の意義や表現活動の方法に関わりの視点で考察している 【学びに向かう力、人間性】 子どもとの関わり方を主体的に学び、考え方や見方を広げている	○	○	○	20
	期末考査と振り返り	学習内容の確認と復習	三観点による総合評価とする	○	○	○	2
3 学期	4章 子どもの福祉 【知識及び技能】 子どもの福祉に関わる理念や法律を理解する 【思考力、判断力、表現力等】 子どもの福祉に関する理念や法律の歴史的背景を考察する 【学びに向かう力、人間性等】 子どもの福祉と諸課題を主体的に学び、考え方や見方を広げる	【指導事項】 ・保育にみる児童観 ・児童福祉の理念と法規・制度 【教材】 ・教科書 ・学習プリント ・タブレット端末	【知識及び技能】 子どもの福祉に関わる理念や法律を理解している 【思考・判断・表現】 子どもの福祉に関する理念や法律の歴史的背景を考察している 【学びに向かう力、人間性】 子どもの福祉と諸課題を主体的に学び、考え方や見方を広げている	○	○	○	8
	学年末考査と振り返り	学習内容の確認と復習	三観点による総合評価とする	○	○	○	2
							合計 78

高等学校 令和7年度（1学年用） 教科

総合的な探究の時間

教科：総合的な探究の時間 単位数：3 単位
対象学年組：第 4 学年 A 組

使用教科書：（ 特になし ）

教科 総合的な探究の時間 の目標：

- 【知識及び技能】 探究の過程において、課題の発見と解決に必要な知識及び技能を身に付け、課題に関わる概念を形成し、探究の意義や価値を理解できている。
- 【思考力、判断力、表現力等】 実社会や実生活と自己との関わりから問いを見いだし、自分で課題を立て、情報を集め、整理・分析して、まとめ・表現できている。
- 【学びに向かう力、人間性等】 探究に主体的・協働的に取り組むとともに、互いのよさを生かしながら、新たな価値を創造し、よりよい社会を実現しようとする態度を養うことができている。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配当 時数
1 学 期	イントロダクション 探究的な学びについてのイメージをつかむ	探究的な学びの実例をもとに、探究的な学びについてのイメージを持たせる。					1
	A 単元：なぜ探究的な学びをする必要があるの？ 【知識及び技能】 今後の社会や新たなテクノロジーについて理解する。 【思考力、判断力、表現力等】 理解した内容をもとに、今後の社会について考え、表現する。 【学びに向かう力、人間性等】 探究に主体的・協働的に取り組む態度を養う。	10年後の未来を調べてみよう ・新たなテクノロジーに触れたり、今後の社会について調べたりすることを通じて、自ら問いを立て、探究することが必要とされている背景を理解する。	【知識及び技能】 今後の社会や新たなテクノロジーについて理解している。 【思考力、判断力、表現力等】 理解した内容をもとに、今後の社会について考え、表現している。 【学びに向かう力、人間性等】 探究に主体的・協働的に取り組む態度を養うことができている。			○	5
	B 単元：身近な「？」を見つけよう 【知識及び技能】 日常生活の中で問いの種を見つける感度と観察眼を養う 【思考力、判断力、表現力等】 自分の気になったものを観察し、表現する。 【学びに向かう力、人間性等】 自ら問いを立て、課題に取り組む態度を養う。	Feel度Walkで問いを探そう ・校内を歩き、気になるモノを見つけ、集め、観察する活動をする中で、日常の中での問いの種を見つける感度や観察眼を養う。 (課題) 日常の中で気になるモノの種を集める。	【主体的に学習に取り組む態度】 自ら問いを立て、課題に取り組もうとしている。			○	4
	C 単元：ミニ探究の実践① 【知識及び技能】 情報収集・整理・まとめ・試行という探究のプロセスを身に着ける。 【思考力、判断力、表現力等】 自らの関心や課題意識などから生まれた問いから課題を生み出し、探究のプロセスを通して考え、判断し、表現することができる 【学びに向かう力、人間性等】 探究に主体的・協働的に取り組む	探究のプロセスを学ぼう～家庭科編～ ・身近な調味料などについて探究を行う。その後、自分たちのたどったプロセスを振り返ること で、探究のプロセスを学ぶ。	【知識・技能】 情報収集・整理・まとめ・試行という探究のプロセスを身に着けている。 【主体的に学習に取り組む態度】 探究に主体的・協働的に取り組もうとしている。	○		○	15
	D 単元：ミニ探究の実践② 【知識及び技能】 情報収集・整理・まとめ・試行という探究のプロセスを身に着ける。 【思考力、判断力、表現力等】 自らの関心や課題意識などから生まれた問いから課題を生み出し、探究のプロセスを通して考え、判断し、表現することができる 【学びに向かう力、人間性等】 探究に主体的・協働的に取り組むことを通じて、複雑な現代社会の中で自ら問いを立て、課題に取り組む態度を養う。	ミニ探究を実践しよう ・日常で集めた気になるモノの種を使い、問いを立てる ・問いをもとに、情報収集→整理→まとめ(試行)のプロセスを踏み、探究を行い、共有する。 ・探究のプロセスをクラスメイトと相互に振り返る。	【知識・技能】 情報収集・整理・まとめ・試行という探究のプロセスを身に着けている。 【思考・判断・表現】 自らの関心や課題意識などから生まれた問いから課題を生み出し、探究のプロセスを通して考え、判断し、表現することができる。 【主体的に学習に取り組む態度】 探究に主体的・協働的に取り組むことを通じて、複雑な現代社会の中で自ら問いを立て、課題に取り組むことができている。	○	○	○	14

2 学 期	E 単元：探究の実践① 【知識及び技能】 情報収集・整理・まとめ・試行という探究のプロセスを身に着ける。 【思考力、判断力、表現力等】 自らの関心や課題意識などから生まれた問いから課題を生み出し、探究のプロセスを通して考え、判断し、表現することができる 【学びに向かう力、人間性等】 探究に主体的・協働的に取り組むことを通じて、複雑な現代社会の中で自ら問いを立て、課題に取り組む態度を養う。	探究の実践 ・日常で集めた気になるモノの種を使い、問いを立てる ・問いをもとに、情報収集→整理→まとめ→(試行)のプロセスを踏み、探究を行い、共有する ・探究のプロセスをクラスメイトと相互に振り返る。	【知識・技能】 情報収集・整理・まとめ・試行という探究のプロセスを身に着けている。 【思考・判断・表現】 自らの関心や課題意識などから生まれた問いから課題を生み出し、探究のプロセスを通して考え、判断し、表現することができる。 【主体的に学習に取り組む態度】 探究に主体的・協働的に取り組むことを通じて、複雑な現代社会の中で自ら問いを立て、課題に取り組むことができている。	○	○	○	27
	中間発表	文化祭での探究成果(途中経過)の展示					
3 学 期	F 単元：探究の実践② 【知識及び技能】 情報収集・整理・まとめ・試行という探究のプロセスを身に着ける。 【思考力、判断力、表現力等】 自らの関心や課題意識などから生まれた問いから課題を生み出し、探究のプロセスを通して考え、判断し、表現することができる 【学びに向かう力、人間性等】 探究に主体的・協働的に取り組むことを通じて、複雑な現代社会の中で自ら問いを立て、課題に取り組む態度を養う。	探究の実践 ・日常で集めた気になるモノの種を使い、問いを立てる ・問いをもとに、情報収集→整理→まとめ→(試行)のプロセスを踏み、探究を行い、共有する ・探究のプロセスをクラスメイトと相互に振り返る。	【知識・技能】 情報収集・整理・まとめ・試行という探究のプロセスを身に着けている。 【思考・判断・表現】 自らの関心や課題意識などから生まれた問いから課題を生み出し、探究のプロセスを通して考え、判断し、表現することができる。 【主体的に学習に取り組む態度】 探究に主体的・協働的に取り組むことを通じて、複雑な現代社会の中で自ら問いを立て、課題に取り組むことができている。	○	○	○	27
	G 単元：探究の発表・学びのコツまとめ 【知識及び技能】 情報収集・整理・まとめ・試行という探究のプロセスを身に着ける。 【思考力、判断力、表現力等】 自らの関心や課題意識などから生まれた問いから課題を生み出し、探究のプロセスを通して考え、判断し、表現することができる 【学びに向かう力、人間性等】 探究に主体的・協働的に取り組むことを通じて、複雑な現代社会の中で自ら問いを立て、課題に取り組む態度を養う。	探究の発表・学びのコツまとめ ・探究の成果を発表する。 ・探究的な学びのコツをまとめる。	【知識・技能】 情報収集・整理・まとめ・試行という探究のプロセスを身に着けている。 【思考・判断・表現】 自らの関心や課題意識などから生まれた問いから課題を生み出し、探究のプロセスを通して考え、判断し、表現することができる。 【主体的に学習に取り組む態度】 探究に主体的・協働的に取り組むことを通じて、複雑な現代社会の中で自ら問いを立て、課題に取り組むことができている。	○	○	○	24
							合計
							117

高等学校 令和 7 年度（4 学年用） 教科 商業 科目 ビジネスコミュニケーション
 教 科： 商業 科 目： ビジネスコミュニケーション 単位数： 2 単位
 対象学年組： 第 4 学年 B 組～ 組

教科 商業

の目標： 商業の見方・考え方を働かせ、実践的・体験的な学習活動を行うことなどを通して、ビジネスにおけるコミュニケーションに必要な資質・能力を次のとおり育成することを目指す

- | | |
|----------------|---|
| 【知識及び技能】 | ビジネスにおけるコミュニケーションについて実務に即して体系的・系統的に理解するとともに、関連する技術を身に付けるようにする。 |
| 【思考力、判断力、表現力等】 | ビジネスにおけるコミュニケーションに関する課題を発見し、ビジネスに携わる者として科学的な根拠に基づいて創造的に解決する力を養う。 |
| 【学びに向かう力、人間性等】 | ビジネスを円滑に展開する力の向上を目指して、自ら学び、ビジネスにおいてコミュニケーションを図ることに主体的かつ協働的に取り組む態度を養う。 |

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
実際のビジネスにおけるコミュニケーションと関連付け、ビジネスの様々な場面で役に立つコミュニケーションに関する知識と技術を身に付けている。	ビジネスにおけるコミュニケーションに関する課題を発見するとともに、コミュニケーションに関する理論、成功事例や改善を要する事例など科学的な根拠に基づいて工夫してよりよく解決する力を養っている。	自らコミュニケーションについて学ぶ態度及び組織の一員として自己の役割を認識して当事者としての意識をもち、他者と信頼関係を構築して積極的にビジネスにおいて日本語や外国語を用いてコミュニケーションを図る態度を養っている。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配 当 時 数
1 学 期	1編 1章 企業の組織と人間関係 2編 2章 応対に関するビジネスマナー 3章 交際に関するビジネスマナー 4章 接客に関するビジネスマナー	・指導事項 仕事に対する心構え ・教材 自作プリント、接遇関連書籍等 ・教室で一人1台端末の活用	【知識・技能】 業務の適切な進行方法やそれを実践する重要性を理解することができる 【思考・判断・表現】 場面に応じた挨拶やお辞儀を理解し、実践することができる 【主体的に学習に取り組む態度】 ホスピタリティについて理解し外国人に対する接客の注意点について考察することができる	○	○	○	26
2 学 期	3編 5章 コミュニケーションの役割と思考方法 6章 ビジネスにおけるコミュニケーション 7章 コミュニケーションとビジネススキル 4編 8章 企業活動のグローバル化	・指導事項 コミュニケーションの役割と種類について理解する ・教材 自作プリント、コミュニケーション関連書籍等 ・ワープロ室で一人1台パソコンの活用等	【知識・技能】 ビジネスコミュニケーションの場面と心得を理解することができる 【思考・判断・表現】 論理的な考え方とビジネスにおけるフレームワークを理解する 摘要欄等補助の入力にも対応できる 【主体的に学習に取り組む態度】 ビジネスに必要な英語について自ら学び、ビジネスにおける外国人への対応に主体的かつ協働的に取り組む	○	○	○	34
3 学 期	9章 ビジネスの会話 10章 ビジネス文書と電子メール 11章 ビジネスにおけるプレゼンテーション	・指導事項 国内での接客 ビジネスレター Business Letters プレゼンテーションの構成 ・教材 自作プリント、ビジネス文書関連書籍等 ・ワープロ室で一人1台パソコンの活用等	【知識・技能】 国内で外国人を接客する際に必要となる英語について実務に即して理解する 【思考・判断・表現】 電子メールの構成とマナーについて理解し、ビジネスメール作成のための基本的な技術を身につける 【主体的に学習に取り組む態度】 英語によるプレゼンテーション(スライド)の流れを理解	○	○	○	18
							合計
							78

高等学校 令和7年度（4学年用）教科 商業 科目 総合実践

单位数： 2 单位

組

)

商業の見方・考え方を働かせ、実践的・体験的な学習活動を行うことなどを通して、ビジネスを通じて、地域産業をはじめ経済社会の健全で持続的な発展を担う職業人としての必要な資質・能力を次のとおり育成することを旨とする。

【思考力、判断力、表現力等】 ビジネスに関する課題を発見し、職業人に求められる倫理観を踏まえ合理的かつ創造的に解決する力を養う。

【学びに向かう力、人間性等】 職業人としての必要な豊かな人間性を育み、よりよい社会の構築を目指して自ら学び、ビジネスの創造と発展に主体的にかつ協働的に取り組む態度を養う。

の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
ビジネスに関する基礎的な知識を身に付け、取引や業務に関する適切な処理方法を判断し組織の一員としての望ましい心構えについて理解する。	ビジネスの諸活動への適切な対応を目指して思考を深め、基本的なビジネスマナーを基に、ビジネスの諸活動に携わる者と判断し、表現する能力を身に付ける。	社会人として必要なビジネスに関する知識について、積極的な学習活動を行う。課題や問題解決をどのように対処していくかを理解する。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配当 時数
1 学 期	1 単元 企業における基礎的な事務と経理の処理 【知識及び技能】 事務・経理の基本的な知識をつける 【思考力、判断力、表現力等】 業務手順を理解する 【学びに向かう力、人間性等】 次の業務を考える	・指導事項 ・入力・処理・判断・検索について理解する ・教材 ・自作プリント、コンピュータ会計関連書籍等 ・総合実践室で一人1台パソコンの活用	【知識・技能】 会計ソフトの基本的な組織を理解し、処理に必要な帳簿を選択できる 【思考・判断・表現】 帳簿から必要とされている金額を計算・処理することができる 【主体的に学習に取り組む態度】 取引から伝票の起票を行い帳簿の集計作業ができる	○	○	○	26
	定期考査						
2 学 期	2 単元 企業における実践的な事務と経理の処理 【知識及び技能】 取引の入力と計算 【思考力、判断力、表現力等】 必要な金額を帳簿から探す 【学びに向かう力、人間性等】 入力のミスなどを自力で見つける	・指導事項 ・帳票作成・集計処理等について理解する ・教材 ・自作プリント、コンピュータ会計関連書籍等 ・総合実践室で一人1台パソコンの活用等	【知識・技能】 より高度な取引を正確に入力・処理できる 【思考・判断・表現】 指定された金額を帳簿から最短で計算する摘要欄等補助的の入力にも対応できる 【主体的に学習に取り組む態度】 金額の不一致などトラブルに対処できる能力がある	○	○	○	32
	定期考査						
3 学 期	3 単元 企業決算における実践的な事務と月末経理の処理、PCの利用と専門用語の理解 【知識及び技能】 コンピュータつ会計の処理 【思考力、判断力、表現力等】 専門用語と計算処理 【学びに向かう力、人間性等】 適切な時間内で業務を行う	・指導事項 ・帳票作成・集計処理等について理解する ・教材 ・自作プリント、コンピュータ会計関連書籍等 ・総合実践室で一人1台パソコンの活用等	【知識・技能】 会計ソフトを円滑に利用できる 【思考・判断・表現】 会計ソフトの専門用語を理解し、簡単な企業分析に関する計算ができる 【主体的に学習に取り組む態度】 業務手順を理解し最適な処理を行える	○	○	○	20
	定期考査						
							合計
							78

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配当 時数
1 学期	各自が設定した課題について、調査・研究に取り組ませる	・指導事項 入力・処理・判断・検索について理解する ・教材 日検の過去問、コンピュータ関連書籍等 ・ワープロ室で一人1台パソコンの活用	【知識・技能】 パソコンの基本的な操作を理解し、処理に必要なソフトを選択できる 【思考・判断・表現】 処理条件を充足する関数等を選択することができる 【主体的に学習に取り組む態度】 上位級に挑戦する姿勢がみられる	○	○	○	26
2 学期	各自が設定した課題について、調査・研究に取り組ませる 調査・研究成果の発表資料作成 調査・研究成果の発表	・指導事項 入力・処理・判断・検索について理解する ・教材 日検の過去問、コンピュータ関連書籍等 ・ワープロ室で一人1台パソコンの活用	【知識・技能】 ソフトの選択ができる 【思考・判断・表現】 指示された工程ができる 【主体的に学習に取り組む態度】 トラブルに対処できる能力がある	○	○	○	38
3 学期	各自が設定した課題について、調査・研究に取り組ませる 調査・研究成果の発表資料作成 調査・研究成果の発表	・指導事項 入力・処理・判断・検索について理解する ・教材 日検の過去問、コンピュータ関連書籍等 ・ワープロ室で一人1台パソコンの活用	【知識・技能】 ソフトを円滑に利用できる 【思考・判断・表現】 ソフトの専門用語を理解し、簡単な処理ができる 【主体的に学習に取り組む態度】 業務手順を理解し最適な処理を行える	○	○	○	14
							合計
							78